

旭ヶ丘キリストの教会

主日礼拝順序

2025年12月28日

司会：千田俊昭
奏楽：千田祥子

黙 祷		一 同
讃 美※	聖 歌 2 1 8 「 高 き 巖 よ 」	一 同
主の祈り※	(聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください)	
讃 美	聖 歌 3 1 9 「 飼 い 主 な る 主 よ 」	一 同
教会学校	絵 本 「 ク リ ス マ ス ・ キ ャ ロ ル 」	牧 師
讃 美	聖 歌 5 8 6 「 い か に け が れ た る 」	一 同
聖書朗読	ルカ1:57-64	
奨 励	2025歳末メッセージ	牧 師
主 題	「神の 때가満ちる時」	
讃 美	聖 歌 4 8 0 「 御 国 の 心 地 す 」	一 同
献 金	献金と感謝の祈り	
聖 餐		
頌 栄※	聖 歌 3 7 8 「 栄 え あ れ や 」	一 同
祝 祷※		牧 師
来週の箇所	新春メッセージ	

※印のところでは御起立下さい。

- ☆ はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申し上げます。しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
- ☆ 私たちは何派にも属さないクリスチャン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
- ☆ 献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです(2コリント9:7)。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
- ☆ キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
- ☆ 第二礼拝後、軽食を用意してありますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
- ☆ 二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会 ニュース



《今週の歩み》
12/28(日)聖日礼拝
/29(月)
/30(火)
/31(水)
1 / 1 (木) 元日
/ 2 (金)
/ 3 (土)



《祈りの課題》

- ① 家族の救いのために
- ② 礼拝に来れなかった人々のために
- ③ 教会学校の子供たちが救われますように

《2017年12月10日 6:55》

良書ハイライト

「たがうことのない約束」

(榎本保郎著「旧約聖書一日一章」p.226)

**主がイスラエルの家に約束されたすべての良いことは、
一つとしてたがわず、みな実現した。(ヨシュア21:45)**

信仰とは、望んでいる事柄を確信し、まだ見ていない事実を確認することである、とヘブル人への手紙の筆者が述べているが、信仰とは神の約束を確信して生きることであり、それが成就したかのごとくに生きることである。それが神の約束であるが故に、既に実現したかのごとくに生きること、そこに信仰の決断がある。

神からカナンの地を嗣業として与えるとの約束を受けたイスラエルの民は、その約束を信じてエジプトを脱出し、40年の荒野放浪の末、約束の地に定着するに及んで、その過去の一切を振り返り見て、「主がイスラエルの家に約束されたすべての良いことは、一つとしてたがわず、みな実現した」と証している。何と力強い証であることよ。

この証の背景には数多くの思い出が彼らの心中を去来したことであろう。時にはその約束が反故(ほご)になったしまったのではなからうかと思うこともあったに違いない。また待てども待てども、その実現を見ることがなかったこともあったに違いない。恐れ、あせり、不安、絶望—神の約束を信じるがゆえに、彼らはこうした暗い谷間を過ぎねばならぬことも多かったことであろう。だが、彼らの信仰は弱らなかった。彼らは挫折しなかった。望み得ないときになお望みつつ生きたアブラハムにならって生きた。進んでいった。

そして今、過ぎこし方を顧みたとき、すべての良いことは、一つとしてたがわず、みな実現した事実には彼らは驚き、感謝し、あらためて神を賛美したのである。生ける神を彼らは見たのである。その驚くべき栄光に生かされたのである。願わくは我らも、その臨終においてこの証をしたいものである。感謝すべきは私たちがそこへと召されているということである。